

福祉に関するアンケート調査



問1 このアンケートを記入するのはどなたですか。(〇は1つ)

1. 本人
2. 本人から意見を聴いて、家族や介助者などが答える
3. 本人の意見を確認することが難しいので、本人の立場に立って家族や介助者などが答える

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人(この調査票の対象者：障がいのある方)の状況などについて、お答えください。

1. あなた自身のことについて

問2 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

1. 男性
2. 女性

問3 あなたの年齢(平成29年7月1日現在)を教えてください。(〇は1つ)

1. 0歳～17歳
2. 18歳、19歳
3. 20歳～29歳
4. 30歳～39歳
5. 40歳～49歳
6. 50歳～59歳
7. 60歳～64歳
8. 65歳～74歳
9. 75歳以上

問4 あなたがお住まいの区を教えてください。(〇は1つ)

1. 中央区
2. 東区
3. 西区
4. 南区
5. 北区

問5 あなたが交付を受けている障害者手帳の種類、等級や判定の全てに○をつけてください。

1. 身体障害者手帳の交付を受けている ※総合等級に○をつけてください
 (1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級)
 → 問5-2、問5-3へ

2. 療育手帳の交付を受けている
 (1. A1 2. A2 3. B1 4. B2)

3. 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている
 (1. 1級 2. 2級 3. 3級)

4. わからない

5. 障害者手帳の交付は受けていない

問6へ

★問5-2と問5-3は、問5で「1. 身体障害者手帳の交付を受けている」と回答した方にのみおたずねします。

問5-2 あなたの主な身体障がい(障がいの部位)を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 視覚障がい | 8. 呼吸器機能障がい |
| 2. 聴覚障がい | 9. じん臓機能障がい |
| 3. 平衡機能障がい | 10. ぼうこう又は直腸機能障がい |
| 4. 音声、言語、そしゃく機能障がい | 11. 小腸機能障がい |
| 5. 肢体不自由(上肢、下肢、体幹) | 12. 肝臓機能障がい |
| 6. 脳原性運動機能障がい | 13. 免疫機能障がい |
| 7. 心臓機能障がい | 14. その他() |

問5-3 あなたの主な身体障がいのほかに、重複する身体障がいがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 視覚障がい | 8. 呼吸器機能障がい |
| 2. 聴覚障がい | 9. じん臓機能障がい |
| 3. 平衡機能障がい | 10. ぼうこう又は直腸機能障がい |
| 4. 音声、言語、そしゃく機能障がい | 11. 小腸機能障がい |
| 5. 肢体不自由(上肢、下肢、体幹) | 12. 肝臓機能障がい |
| 6. 脳原性運動機能障がい | 13. 免疫機能障がい |
| 7. 心臓機能障がい | 14. その他() |

★みなさんにおたずねします。

問6 あなたは難病と呼ばれる病気にかかっていますか。(○は1つ)

※難病とは、原因不明で治療法が未確立な疾病のうち、国が研究事業に指定した疾患を指します。

1. かかっていない
2. かかっている
3. わからない

※「2. かかっている」を選んだ方で、症状が変化(重くなったり軽くなったり)する場合は、より重たい症状のときを想定して、以降の質問にお答えください。

問6で「2.」と回答した方におたずねします。

問6-2 あなたは特定疾患医療受給者証の交付を受けていますか。(○は1つ)

1. 受けている(診断名)
2. 受けていない

問7 あなたは発達障がいとして診断されたことがありますか。診断されている場合、その診断名もお書きください。(○は1つ)

※発達障がいは、自閉症やアスペルガー症候群、学習障害、注意欠如多動性障害(ADHD)などを指します。

1. ない
2. ある(○○○の疑いと診断された場合も含む)
(診断名:)
3. わからない



2. 日常生活について

問8 あなたの現在の住まいは、次のどれですか。(医療機関に1年以上入院されている方は、「7. 病院に入院中」を選んでください。)(○は1つ)

- | | | |
|---|---|-------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分や家族の持ち家 2. 民間の借家や賃貸アパート・マンション、会社の寮等 3. 市営・県営住宅、公社・公団住宅 4. 仮設住宅、みなし仮設住宅 5. グループホーム 6. 入所施設 7. 病院に入院中 8. その他(具体的に: _____) | } | 問8-2へ |
| <ol style="list-style-type: none"> 6. 入所施設 7. 病院に入院中 | } | 問9へ |

★問8で「1.」、「2.」、「3.」、「4.」のいずれかと回答した方におたずねします。

問8-2 あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 一人で暮らしている | 3. その他(具体的に: _____) |
| 2. 家族と暮らしている | |

★問8で「6.」または「7.」と回答した方におたずねします。

問9 病院を退院または施設を退所して、地域で生活することを望みますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|---------|
| 1. 望む | 2. 望まない |
|-------|---------|

★みなさんにおたずねします。

問10 あなたの生活費は、主に、次のどれによってまかなわれていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 自分の就労等による収入 | 4. 家族の年金や手当 |
| 2. 自分の年金や手当 | 5. 生活保護 |
| 3. 家族の就労等による収入 | 6. その他(具体的に: _____) |

問11 あなたの身の回りの支援(世話や介助)を行っているのは、主にどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1. 配偶者(夫や妻) | 6. 子ども・孫(子ども・孫の配偶者を含む) |
| 2. 母親 | 7. その他の親族 |
| 3. 父親 | 8. 家族・親族以外の同居人 |
| 4. 祖父母 | 9. ホームヘルパー |

5. 兄弟姉妹 きょうだいしまい 10. その他（具体的に：た　ぐたいてき）
11. 支援が必要だが、支援をしてくれる人はいない しえん　ひつよう　しえん　ひと
12. 支援をしてもらう必要がない しえん　ひつよう

問12 主にあなたの身の回りの支援(世話や介助)を行っている方の性別、年齢、健康状態を記入してください。

【性別】(〇は1つ)

1. 男性 だんせい 2. 女性 じょせい

【年齢】(数字を記入)

() 歳 さい 平成29年7月1日現在 へいせい　ねん　がつ　にちげんざい

【健康状態】

1. よい 2. ふつう 3. よくない

問13 主にあなたの身の回りの支援(世話や介助)を行っている方は働いていますか。

(〇は1つ)

1. 働いている はたら
2. 介護休暇をとっている かいごきゅうか
3. 働いていたが、介護があり辞めている はたら　かいご　や
4. 働いていたが、介護以外の理由で辞めている はたら　かいごいがい　りゆう　や
5. 働いたことがない はたら

問14 在宅で生活するためには、どのような条件が必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

1. バリアフリー環境などが整った暮らしやすい住居が確保できること かんきよう　ととの　く　じゅうきよ　かくほ
2. 家事の支援や身の回りの介助などの支援が受けられること かじ　しえん　み　まわ　かいじょ　しえん　う
3. 在宅で必要な医療的ケアが受けられること ざいたく　ひつよう　いりょうてき　う
4. 外出時（買い物・通院等）の付き添いがあること がいしゅつじ　か　もの　つういんなど　つきそ
5. 近くに相談相手や相談窓口があること ちか　そうだんあいて　そうだんまどぐち
6. 定期的な訪問（見守り）により、困り事への助言や援助が受けられること ていきてき　ほうもん　みまち　こま　ごと　じよげん　えんじよ　う
7. 手当・年金制度などが充実していること てあて　ねんきんせいど　じゅうじつ
8. 金銭管理に関する支援が受けられること きんせんかんり　かん　しえん
9. 地域住民の理解を得られること ちいきじゅうみん　りかい　え
10. その他（具体的に：た　ぐたいてき）

3. 就労状況（仕事）について

★問15～問17は、18歳以上の方（在学中の方を除く）におたずねします。

問15 あなたは、現在、働いていますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 正社員として働いている（自営業を含む） | } 問15-2、
問15-3へ |
| 2. パート・アルバイトをしている | |
| 3. 施設で働いている（通所施設、就労継続支援事業など） | |
| 4. 将来、企業などで働くため、施設に通っている（就労移行支援事業所など） | |
| 5. その他（具体的に： _____） | |
| 6. 働いていない → 問16へ | |

★問15-2と問15-3は、問15で、「1.」、「2.」、「3.」のいずれかと回答した方におたずねします。

問15-2 あなたが仕事で得る月収は平均しておよそいくらぐらいですか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 5千円未満 | 6. 10万円～15万円未満 |
| 2. 5千円～1万円未満 | 7. 15万円～20万円未満 |
| 3. 1万円～3万円未満 | 8. 20万円～30万円未満 |
| 4. 3万円～5万円未満 | 9. 30万円以上 |
| 5. 5万円～10万円未満 | |

問15-3 仕事のことや悩んでいることや困っていることがありますか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------|---------|
| 1. 収入が少ない |) _____ |
| 2. 休みを取ることがむずかしい | |
| 3. 勤務時間の長さや時間帯が自分に合わない | |
| 4. 仕事の内容が自分に合わない | |
| 5. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない | |
| 6. 職場の周囲の人の障がいへの理解が十分でない | |
| 7. 職場の設備が不便（通路、段差、トイレ、エレベーターなど） | |
| 8. 通勤がたいへん | |
| 9. その他（具体的に： _____） | |
| 10. 特にない | |

★問15で「6. 働いていない」と回答した方におたずねします。

問16 あなたは、今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 仕事をしたい | 3. 障がいの状態などの理由で仕事はできない |
| 2. 仕事をしたいと思わない | 4. わからない |

★18歳以上の方で、現在働いている、あるいは、今後働きたいと思う方におたずねします。

問17 あなたは、障がい者が働くにあたって、どのようなことが大切だと思いますか。

(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 障がいの特性に合わせ、働き方(勤務日数や時間)が柔軟であること |
| 2. 送迎など通勤に必要な支援があること |
| 3. 自宅でできる仕事が増えること |
| 4. 給料が保障されること |
| 5. 障がいの特性にあった職種や業務であること |
| 6. 職業訓練などで、働くことに必要な技術や資格を取得できること |
| 7. ジョブコーチ(職場適応援助者)など、職場に慣れるまで支援してくれる制度が充実すること |
| 8. 施設や設備など、障がいがあっても使いやすいものになっていること
(バリアフリーの充実) |
| 9. 職場の上司や同僚が障がいに理解があること |
| 10. 職場により指導者がいること |
| 11. 仕事を探すことや、仕事を続けることについて相談できる場所があること |
| 12. 働くことで生じた生活面の課題(生活リズム、体調管理、給料管理等)解決に向けて、必要な助言や指導を受けられること |
| 13. その他(具体的に：) |
| 14. 特にない |



4. 外出について

問18 あなたは、過去1ヶ月間にどのぐらい外出しましたか。(○は1つ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 月に1～2回 |
| 2. 週3～4回 | 5. 外出していない |
| 3. 週1～2回 | |

問19 どのようなところに外出することが多いですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 仕事 | 5. 買い物、食事、散歩など |
| 2. 通所施設等 | 6. 余暇活動、趣味の活動 |
| 3. 学校 | 7. その他 () |
| 4. 医療機関 (通院、リハビリなど) | |

問20 外出するときの移動手段はなんですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 自家用車 (自分で運転) | 6. 福祉タクシー (リフト付きタクシー等) |
| 2. 自家用車 (家族等が運転) | 7. 自転車・バイク |
| 3. 電車 (JR・市電など) | 8. 徒歩 |
| 4. バス | 9. 車いす・電動車いす |
| 5. タクシー | 10. その他 (具体的に:) |

問21 外出するときに、あなたはどのようなことに不便を感じる人が多いですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. 建物や道路のバリアフリー化が進んでいない | |
| 2. 交通機関の乗り降りが難しい | |
| 3. 障がい者用の駐車場が少ない | |
| 4. 障がい者用の施設・設備の場所がわかりにくい (場所の案内が不十分) | |
| 5. 障がい者用の施設・設備はあるが、障がいのない人が使っており、使用できないことがある | |
| 6. 付き添いをする人がいない | |
| 7. 困っているときに声をかけてくれる人がいない | |
| 8. その他 (具体的に:) | |
| 9. 特にない | |

5. 余暇活動や社会活動について

問22 あなたは、次のような活動を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 映画やコンサート、演劇などの鑑賞
2. スポーツ
3. ドライブや旅行
4. パソコン・料理・文学・歴史など、技術習得や趣味、教養などの活動
5. 絵画や書道、音楽、ダンスなどの表現や創作的活動
6. NPO、ボランティア活動
7. 自治会活動などの地域活動
8. 特に何もしていない
9. その他(具体的に：)

問23 あなたは、今後、どのような活動を行いたいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 映画やコンサート、演劇などの鑑賞
2. スポーツ
3. ドライブや旅行
4. パソコン・料理・文学・歴史など、技術習得や趣味、教養などの活動
5. 絵画や書道、音楽、ダンスなどの表現や創作的活動
6. NPO、ボランティア活動
7. 自治会活動などの地域活動
8. その他(具体的に：)
9. 特にない

問24 余暇活動や社会的活動を行うには、主に何が必要だと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 付き添いをする人 | 5. 誘ってくれる仲間 |
| 2. 交通手段 | 6. 経済的な余裕 |
| 3. イベント開催情報 | 7. 活動に関する相談支援 |
| 4. 活動の選択肢が増えること | 8. その他(具体的に：) |

6. 保育や教育について

★18歳未満の方(保護者の方)におたずねします。

問25 あなたは、平日の日中、主にどこで過ごしているかをお答えください。(〇は1つ)

未就園	1. 自宅	2. その他(具体的に:)			
未就学	3. 保育園・幼稚園・認定こども園	4. 通園施設	5. その他()		
小学校(小学部)	6. 通常学級	9. 特別支援学校	7. 通常学級(通級)	10. その他()	8. 特別支援学級
中学校(中学部)	11. 通常学級	14. 特別支援学校	12. 通常学級(通級)	15. その他()	13. 特別支援学級
高校(高等部)	16. 高等学校	18. その他()	17. 特別支援学校		
専門学校・大学等	19. 専門学校	21. 職業訓練校	20. 大学・大学院	22. その他()	

問26 学校卒業後の進路希望は、次のうちどれに近いですか。(〇は1つ)

1. 就労の場、生活訓練、社会参加の場を提供する通所施設を利用したい
2. 就職したい(一般就労)
3. 家事や家業の手伝いをしたい
4. 進学したい
5. その他(具体的に)
6. わからない
7. 特に希望はない

★障がいのあるお子様(18歳未満)がいらっしゃる保護者の方のみお答えください

問27 障がいや発達の不安に気づいたきっかけは、どのようなことでしたか。(〇は1つ)

1. 乳幼児健診	4. 学校での様子
2. 医療機関を受診したとき	5. ふだんの様子
3. 幼稚園・保育所等での様子	6. その他(具体的に:)

問28 障がいや発達の不安に気づいてから、どこに相談し、診察・検査を求めに行きましたか。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 医療機関 | 6. 児童相談所 |
| 2. 学校、保育園、幼稚園等 | 7. 発達障がい者支援センター（みなわ） |
| 3. 区役所の福祉課・保健子ども課 | 8. 熊本市障がい者相談支援センター |
| 4. 熊本市子ども発達支援センター | 9. その他（ ） |
| 5. 熊本市こころの健康センター | |

問29 医療機関や専門相談機関に受診・相談するために、特にどのような支援が得られればよいですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 相談できる窓口の情報 | 3. 親（家族）へのこころのケア |
| 2. 障がいについて知識を得る機会 | 4. その他（ ） |

問30 障がいのある子どもたちがくらしやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は5つまで)

- | |
|---|
| 1. 早期の障がい発見と支援の開始 |
| 2. 身近な地域で相談支援が受けられる体制 |
| 3. 乳幼児から成人まで一貫した相談支援が受けられる体制 |
| 4. 障がいのある子どものための通園施設・通園事業・デイサービスの充実 |
| 5. 保育園・幼稚園・小中学校等での受け入れ環境の整備
(医療ケア体制、教職員の資質の向上、障がいに配慮した施設整備等) |
| 6. 障がいに詳しい医療機関の充実 |
| 7. 特別支援学校・特別支援学級の整備 |
| 8. 学校教育で障がいを知る教育 |
| 9. 学童保育や一時的に利用できる託児サービス |
| 10. 親どうしの交流活動の場 |
| 11. 親が働き続けることができること |
| 12. 周囲の児童・生徒や保護者の理解 |
| 13. 地域住民の理解 |
| 14. 手当や年金制度の充実 |
| 15. その他（ ） |
| 16. 特になし |

7. 福祉サービスについて

問31 あなたは「障害支援区分」の認定を受けていますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------|----------------------|
| 1. 区分1 | 6. 区分6 |
| 2. 区分2 | 7. 区分認定を受けて「非該当」となった |
| 3. 区分3 | 8. 区分認定は受けていない |
| 4. 区分4 | 9. わからない |
| 5. 区分5 | |

問32 あなたは、現在、障がい者向けの福祉サービスを利用していますか。(〇は1つ)

- | |
|---|
| 1. 福祉サービスを利用している |
| 2. 受給者証の交付は受けたが、福祉サービスは利用していない → 問32-2へ |
| 3. 受給者証の交付は受けていない(福祉サービスの利用申請はしていないも含む) |
| 4. その他(具体的に：) |

★問32で「2.」と回答した方におたずねします。

問32-2 現在、福祉サービスを利用していないのは、主にどのような理由からですか。

(〇は1つ)

- | |
|----------------------------|
| 1. 病院に入院中だから |
| 2. 家族の介助を希望しているから |
| 3. 希望する福祉サービス(事業所)に空きがないから |
| 4. 利用したい福祉サービスがないから |
| 5. 利用の仕方がわからないから |
| 6. 利用料の負担が大きいから |
| 7. その他(具体的に：) |
| 8. 今すぐ利用しなくても困らないから |

問33 次の障がい福祉サービスについて、あなたの利用状況と利用意向を教えてください。

【サービスの名称】		【サービスの内容】		利用状況		利用意向	
				現在利用していますか	利用している	今後利用したいですか	利用したい
訪問系サービス	① 居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で入浴や排泄、食事の介護、家事における支援等を行うサービス	⇒	1	2	1	2
	② 重度訪問介護	重度の障がいがあり、常に介護が必要な人に、自宅での介護から外出時の移動支援までを総合的に行うサービス	⇒	1	2	1	2
	③ 同行援護	視覚障がいにより移動が著しく困難な人に、外出時同行し、必要な情報の提供や移動の支援を行うサービス	⇒	1	2	1	2
	④ 行動援護	知的障がいや精神障がいにより行動が困難で、常に介護が必要な人に、外出時の移動の支援や行動の際に生じる危険回避のための援護などを行うサービス	⇒	1	2	1	2
	⑤ 重度障害者等包括支援	介護の必要性がとて高い人に、居宅介護などの障害福祉サービスを包括的に行う	⇒	1	2	1	2
	⑥ 短期入所 (ショートステイ)	自宅で介護を行う人が病気の場合などに、短期の入所による入浴・排泄、食事の介護などを行うサービス	⇒	1	2	1	2
日中活動系サービス	⑦ 生活介護	常に介護を必要とする人に、おもに日中に障がい者施設などで行われる入浴・排泄・食事の介護や、創作的活動・生産活動の機会の提供を行うサービス	⇒	1	2	1	2
	⑧ 療養介護	病院において、おもに日中に機能訓練や療養上の管理・看護・介護・日常生活上の援助などを行うサービス	⇒	1	2	1	2
	⑨ 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活ができるよう、身体機能や生活能力向上のための訓練を、一定期間の支援計画に基づき行うサービス	⇒	1	2	1	2
	⑩ 就労移行支援	就労を希望する人に、就労に必要な知識や能力の向上のための訓練や職場実習などを、一定期間の支援計画に基づき行うサービス	⇒	1	2	1	2
	⑪ 就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (A型)	⇒	1	2	1	2
	就労継続支援 (B型)	⇒	1	2	1	2	

【サービスの名称】		【サービスの内容】
居住系サービス	⑫ 施設入所支援	介護が必要な人や自宅から通所して自立訓練または就労移行支援を利用することが困難な人に対して居住の場を提供し、夜間における日常生活上の支援を行うサービス
	⑬ 共同生活援助 (グループホーム)	日中に就労や日中活動系サービスを利用している人に対し、地域の共同生活の場において、相談や入浴・排泄・食事などの介護その他日常生活の援助を行うサービス
障がい児のサービス	⑭ 児童発達支援	障がい児に対して施設に通っての日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応訓練などを行うサービス
	⑮ 医療型児童発達支援	肢体不自由がある障がい児に対して、医療機関に通っての児童発達支援及び治療を行うサービス
	⑯ 放課後等デイサービス	就学している障がい児に対して授業終了後または休業日に、施設に通っての訓練や社会との交流促進などを行うサービス
	⑰ 保育所等訪問支援	障がい児が通う保育所等を訪問し、他の児童との集団生活への適応のための専門的な支援を行うサービス
	⑱ 障がい児入所支援 (福祉型・医療型)	施設や医療機関への入所等により、児童の保護、日常生活の指導及び自立した生活に必要な知識技能の付与(医療型は加えて治療)を行うサービス

利用状況		利用意向	
現在利用していますか		今後利用したいですか	
利用している	利用していない	利用したい	利用しない
1	2	1	2
1	2	1	2
1	2	1	2
1	2	1	2
1	2	1	2
1	2	1	2

平成30年度から新設されるサービス

【サービスの名称】		【サービスの内容】
①	自立生活援助	施設入所支援や共同生活援助を利用していた者等を対象として、定期的な巡回訪問や随時の対応により円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行うサービス
②	就労定着支援	就労移行支援等の利用を経て一般就労へ移行した人に、就業に伴う生活面の課題に対応できるよう、事業所・家族等の連絡調整等の支援を行うサービス

1	2
1	2

問34 次の地域生活支援事業等について、あなたの利用状況と利用意向を教えてください

【事業の名称】		【事業の内容】		利用状況		利用意向	
				現在利用していますか		今後利用したいですか	
				利用している	利用していない	利用したい	利用しない
①	相談支援事業	指定を受けた相談支援事業所が、障がい者等からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言等の支援を行うサービス	⇒	1	2	1	2
②	成年後見制度利用支援事業	知的障がい者又は精神障がい者に対し、成年後見制度の利用を支援するサービス	⇒	1	2	1	2
③	手話通訳者派遣	聴覚障がい者等のコミュニケーションの円滑化を図るために、手話通訳者を派遣するサービス	⇒	1	2	1	2
④	要約筆記者派遣	手話取得が困難な中途失聴者や難聴者のコミュニケーション手段として、要約筆記者を派遣するサービス	⇒	1	2	1	2
⑤	日常生活用具給付等	重度障がい児・者に対し、自立生活支援用具等(介護ベッドなど)の日常生活用具を給付するサービス	⇒	1	2	1	2
⑥	移動支援	屋外での移動が困難な障がい者等に対し、外出のための支援を行うサービス	⇒	1	2	1	2
⑦	地域活動支援センター	センターにおいて創作活動または生産活動の機会の提供、社会との交流等を行うサービス	⇒	1	2	1	2
⑧	訪問入浴サービス	自宅の浴槽での入浴が困難な人に対し、専門スタッフ(看護職員1名、介護職員2名)が専用の浴槽を持って自宅を訪問し、お部屋にいなから入浴ができるサービス	⇒	1	2	1	2
⑨	日中一時支援	保護者または家族の病気等により、家庭で介護できなくなった場合、一時的に預かり、支援するサービス	⇒	1	2	1	2
⑩	障がい者運転免許取得費助成	障がい者が運転免許を取得する場合にその費用の一部を助成するサービス	⇒	1	2	1	2
⑪	身体障がい者自動車改造費助成	身体障がい者が自ら運転する自動車の走行装置・駆動装置の改造を必要とする場合にその費用の一部を助成するサービス	⇒	1	2	1	2

8. 相談窓口について

問35 あなたが困ったときに、気軽に相談できる人や窓口がありますか。(〇はいくつでも)

<p>1. 家族・親族</p> <p>2. 友人・知人</p> <p>3. 入所・通所している施設のスタッフ</p> <p>4. 入院・通院している病院のスタッフ</p> <p>5. ホームヘルパー、訪問看護師</p> <p>6. 通園施設や保育園、幼稚園、学校の先生</p> <p>7. 職場の上司や同僚</p>	<p>8. 障がい者団体や家族会</p> <p>9. 障がい者相談員</p> <p>10. 地域の民生委員・児童委員</p> <p>11. 行政機関の窓口</p> <p>12. 熊本市障がい者相談支援センター</p> <p>13. くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター[※]</p> <p>14. その他(具体的に：)</p>
---	--

★18歳以上の方のみにおたずねします。

問36 次の相談機関を知っていますか。また、利用したことがありますか。

機関名	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない
熊本市障がい者相談支援センター	1	2	3
熊本市こころの健康センター	1	2	3
くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター [※]	1	2	3
熊本市発達障がい者支援センター(みなわ)	1	2	3
熊本市ひきこもり支援センターりんく	1	2	3
熊本県難病相談・支援センター	1	2	3

※「熊本市障がい者相談支援センター」は、熊本市内に9ヶ所設置しています。

★障がいのあるお子様(18歳未満)がいいらっしゃる保護者の方におたずねします。

問36-2 次の相談機関を知っていますか。また、利用したことがありますか。

機関名	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない
熊本市障がい者相談支援センター	1	2	3
熊本市こころの健康センター	1	2	3
熊本市子ども発達支援センター	1	2	3
熊本市発達障がい者支援センター(みなわ)	1	2	3
熊本市ひきこもり支援センターりんく	1	2	3
児童相談所	1	2	3
熊本市子ども・若者総合相談センター	1	2	3
熊本市教育相談室	1	2	3

9. さいがいに 災害時について

問37 熊本地震の時、あなたは情報確保や移動に支援が必要でしたか。(〇は1つ)

1. はい
2. いいえ
3. 熊本地震は経験していない → 問36へ

★問37で「1.」または「2.」を回答した方におたずねします。

問37-2 地震後、あなたはどこに避難しましたか。(〇は1つ)

1. 地域の避難所に避難した
2. 自宅から離れた避難所に避難した
3. 避難所で過ごすことができないため避難しなかった
4. 親戚や友人の家に避難した
5. 車中泊、テント泊をした
6. 避難所で過ごすことができないため、車中泊、テント泊をした
7. 介護保険施設や社会福祉施設（福祉避難所）などに避難した
8. 震災の被害がほとんどなかったため避難していない
9. その他（具体的に： _____)

問38 地震後、あなたの災害への備えの意識は変わりましたか。(〇はいくつでも)

1. 自分が避難する避難所について検討した
2. 避難する際の方法について検討した
3. 水や食糧、電池等の備蓄をし、ライフラインの停止に備えた
4. 必要とする薬や機材、医療器具等を準備した
5. 自宅の安全対策をした
6. 熊本市緊急告知ラジオ（防災ラジオ）を設置した
7. 自治会や民生委員、隣近所とのつながりを強めた
8. その他（ _____)

とい さいがい じょうえんごしやしえんせいど し
問39 災害時要援護者支援制度を知っていますか。 (○は1つ)

さいがい じょうえんごしやしえんせいど
※災害時要援護者支援制度とは

さいがい じ じりき ひなん ひなん かんこくじょうほうなど さいがいじょうほう つた かつ たいしやう あらかじ ほんにん
災害時に自力で避難できない方や、避難勧告情報等の災害情報が伝わりづらい方などを対象とし、予め本人
しんせい もと ようえんごしやとうろくしゃめいぼ とうろく ちいき じちかい じしゆ ぼうさい みんせいいいんなどおよ し かんけい
の申請に基づき「要援護者登録者名簿」に登録し、地域の自治会、自主防災クラブ、民生委員等及び市の関係
きかん めいぼ はいふ じょうほう きょうゆう ちいき し きょうりやく じんそく たいおう おこな せいど
機関に名簿を配布し情報を共有することにより、地域と市が協力し、迅速な対応が行えるようにする制度です。

1. 知っていて登録している
2. 知っているが登録はしていない
3. 聞いたことはあるが、内容は知らない
4. 知らない



10. 理解促進・権利擁護等について

問40 あなたは、障がいがあることで差別を受けたと感じたこと、あるいは、嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つ)

1. ある → 問40-2へ 2. ない 3. わからない

★問40で「1.」と回答した方におたずねします。

問40-2 具体的に、どんな場面でしたか。(○はいくつでも)

1. まちなかや地域での人の視線や態度
2. 行政職員の対応や態度 → 問40-3へ
3. 店での扱いや店員の態度
4. 仕事や収入
5. 教育の機会
6. 交通機関や建物の構造が障がい者の利用に配慮されていないこと

★問40-2で「2.」と回答した方におたずねします。

問40-3 市役所や区役所の制度の運用、建物の構造、職員の対応などで、障がいを理由とした差別的取り扱い、または、配慮が足りないと感じたことがあれば教えてください。

問40-4 生活する中で障がいを理由として差別的取り扱い、または、配慮が足りないと感じたことがあれば教えてください。

問41 あなたは、障がいのある人への差別や偏見を減らしたり、障がいへの理解を深めるためには、どのような取り組みが最も効果的だと思いますか。(〇は1つ)

1. 行政(国・県・市)や学校、障がい者団体などの関係団体が、啓発・広報活動を行う(例、講演会等イベントの開催や冊子の配布など)
2. 障がいのある人とない人が交流したり、共に活動する機会を拡充する
3. 市民や企業、団体の自発的な取り組みを行政が支援する
4. その他(具体的に:)

問42 本市では、市民の皆さんが障がいについて理解を深め、障がいのある人にとって必要な配慮の実践につなげる「障がい者サポーター制度」を設けています。

障がい者サポーター制度シンボルマーク



あなたは、この障がい者サポーター制度を知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている(登録している人も含みます)
2. 言葉は聞いたことがある
3. 知らない

問43 「障がい者サポーター」となった方は、日常生活の中で、できる範囲で障がいのある人へのちょっとした配慮やサポートを行います。あなたが、「障がい者サポーター」に期待する、日常生活におけるちょっとした配慮はどのようなことですか。

問44 あなたは、本市が障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

1. 思う
2. どちらかといえば思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば思わない
5. 思わない

とい しょう ひと たい しょう ぎょうせい くに けん し じゅうじつ
問45 障がいのある人に対する支援として、行政(国・県・市)はどのようなことをさらに充実
すべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1. しょう ひと たい りかい ふか けいはつかつどう きょういく じゅうじつ
障がいのある人に対する理解を深めるための啓発活動や教育の充実
2. そうだんまどぐち じゅうじつ
相談窓口の充実
3. しょうがいふくし など ひつよう しょうせいど じゅうじつ
障害福祉サービス等、必要な支援制度の充実
4. こうきょうせつ こうきょうこうつうきかん どうろなど か
公共施設や公共交通機関、道路等のバリアフリー化
5. さいがいじ しょうたいせい じゅうじつ
災害時の支援体制の充実
6. とくべつしょうせいきょういく しょう じほいく じゅうじつ
特別支援教育や障がい児保育の充実
7. しゅうろうしょうせい じゅうじつ じぎょうぬし けいはつ しゅうろうおよ けいぞくしゅうろう しょうなど
就労支援の充実(事業主への啓発、就労及び継続就労への支援等)
8. ぶんか スポーツ、レクリエーション等を通じた社会参加の支援
9. わかりやすい じょうほうていきょう じゅうじつ
わかりやすい情報提供の充実
10. ねんきん てあ など じゅうじつ
年金や手当等

とい し しょう ふくししきく かんれん いけん か
問46 市の障がい福祉施策に関連して、ご意見などがありましたらお書きください。

きょうりよく
◎ご協力ありがとうございました。